

宮城県土木部 復興だより第32号

contents

- 復旧・復興事業の進捗状況
【令和2年9月末現在】
- 復興トピックス
(令和2年3月～令和2年9月)



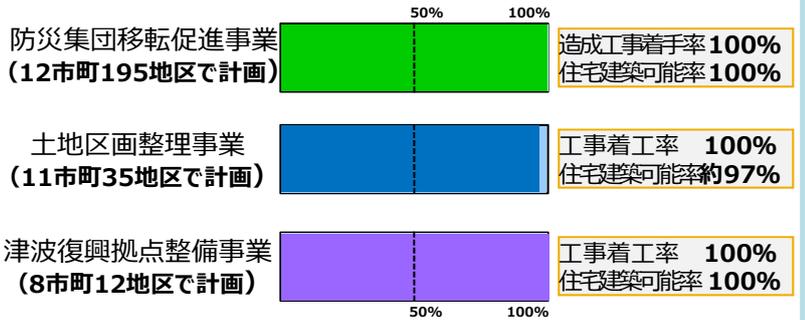
復旧・復興の進捗状況【令和2年9月末現在】

●災害復旧工事の進捗状況



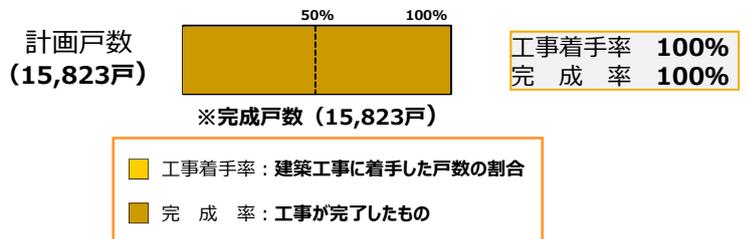
■ 着手率：工事請負契約を締結したもの
■ 完成率：工事が完了したもの

●復興まちづくり事業の進捗状況

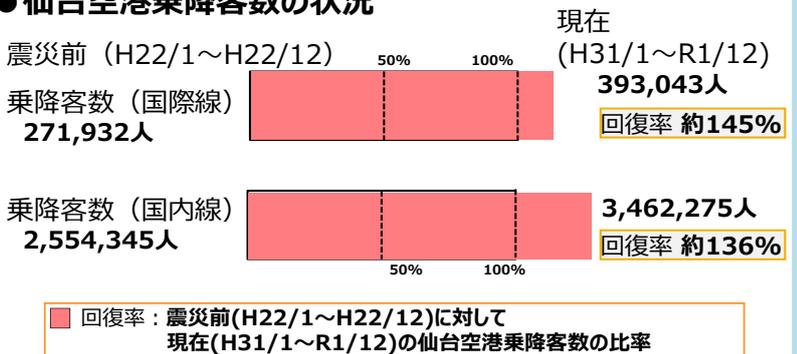


■ 造成工事着手率：工事請負契約の締結などが完了した地区数の割合
■ 住宅建築可能率：造成工事が完了するなど住宅等建築工事が可能となった地区の割合
■ 工事着工率：施工業者が事業用地内の工事に着手した地区の割合

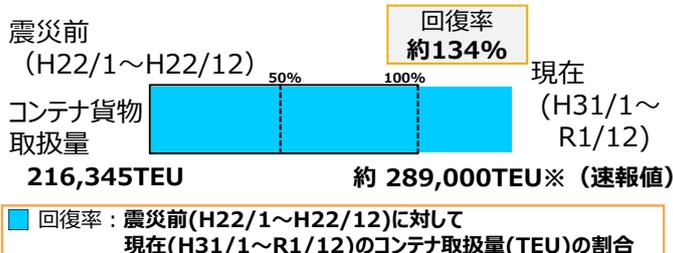
●災害公営住宅の整備状況



●仙台空港乗降客数の状況



●仙台塩釜港（仙台港区）コンテナ貨物取扱量



※TEUとは20フィートコンテナ1個分相当を示す単位

▲宮城県では、復興の進捗状況を取りまとめて公表しています。

詳しくは下記URL又はQRコードをご参照願います。

・震災復興・企画部震災復興政策課ホームページ「復興の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/site/ej-earthquake/shintyoku.html>

・土木部土木総務課ホームページ「東日本大震災からの復旧・復興事業の進捗状況」

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/doboku-sintyoku-press.html>



復興トピックス

(令和2年3月～6月)

4月

●3/22 (主)女川牡鹿線 小乗浜復興道路 開通

●4/9 (一)大塩小野停車場線
上小松バイパス 開通

●4/13 高砂コンテナターミナル 新トラックゲート
運用開始

●5/11 蔵王エコーライン (主)白石上山線
冬期閉鎖からの開通

●5/11～5/29 みやぎ防災月間
復旧・復興パネル展 開催

(県庁・気仙沼合同庁舎・石巻合同庁舎)



新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、パネル展示会場に行かなくてもパネルを閲覧できるようになっております。下記URLをご参照ください。

【WEB版 復旧・復興パネル展】

<https://www.pref.miyagi.jp/site/0311densyogensai/p/webpanel2020.html>

6月

●6/12 利府町新中道土地区画整理事業 完了

●6/12 令和2年度 土木部防災訓練 実施

●6月12日

利府町新中道土地区画整理事業 完了

当事業は、商業・医療などの多様な都市機能と良好な住居機能が共存するまちづくりを目指し、平成25年度から事業を進め、令和2年6月12日に完了しました。

大型商業施設用地は、イオンモールを誘致し、既存店に隣接して設置することで、より一層、町の繁栄が期待されます。

住宅地区に関しては、多くの人々が集う魅力と賑わいあふれる街区形成を目指しております。



●3月22日

(主) 女川牡鹿線 小乗浜復興道路 開通

小乗浜復興道路は、東日本大震災で甚大な被害を受けた女川町小乗浜地区の防災集団移転地と鷺神浜地区の(一)牡鹿半島公園線を接続する復興道路として、平成24年度から整備を進めており、令和2年3月22日に供用を開始しました。

今回の供用により、小乗浜防災集団移転地と女川町中心市街地を結び、安全で円滑な交通が確保され、地域住民の利便性の向上や地域の活性化が期待されます。



●4月9日

(一) 大塩小野停車場線

上小松バイパス 開通

平成22年度から事業を進めてきた(一)大塩小野停車場線上小松区が令和2年4月9日に開通しました。

当事業は、道路幅員が狭小で歩道未整備である本路線唯一の未改良区間のバイパス改良事業でした。当区間が開通したことで、交通安全を確保するとともに、三陸自動車道矢本インターチェンジへのアクセス向上が期待されます。



●4月13日

高砂コンテナターミナル新トラックゲート

運用開始

宮城県では、仙台塩釜港仙台港区高砂コンテナターミナルの取扱貨物量の増加に対応するため、平成24年度より拡張工事を進めてきました。

管理棟やトラックゲート等の主要施設が完成したことから、令和2年4月13日より施設の運用を開始しました。



復興トピックス

(令和2年7月～9月)

7月

- 7/16 **令和2年度宮城県建設工事表彰式 開催**
- 7/21 **若手人材育成のための現場見学会【(主)丸森霊山線】 開催**
- 7/22 **令和元年台風第19号を踏まえた今後の治水対策の在り方検討会(第二回) 開催**
- 7/28 **第三回七北田川水系河川整備学識者懇談会 開催**

8月

- 7/30 **第一回 宮城県津波浸水想定の設定に関する検討会 開催**
- 8/4 (都) **矢本門脇線(大曲工区) 開通**
- 8/25 (国)398号 **相川復興道路事業(仮)相川1号橋連結式 開催**
- 8/28 (主) **女川牡鹿線 高白復興道路 一部供用開始**

9月

- 9/10 (国)398号 **内海橋 開通**
- 9/30 **令和元年台風第19号を踏まえた今後の治水対策の在り方検討会(第三回) 開催**

●8月28日 (主) 女川牡鹿線 高白復興道路 一部供用開始

当区間は、平成24年度から牡鹿郡女川町高白地内の延長L=1,156m区間を高白復興道路として整備を行ってきました。

このたび、全区間のうち約442mの区間の整備が完了し、令和2年8月28日に供用を開始しました。今後も引き続き、早期整備完了に向けて事業を進めてまいります。



●9月30日 令和元年台風第19号を踏まえた今後の治水対策の在り方検討会(第三回) 開催

令和元年台風第19号では、県内の広い範囲において甚大な被害が発生し、気象変動の影響による豪雨災害の頻発化・激甚化に対応するためにはハード・ソフトが一体となった治水対策の更なる強化が必要となっています。

本検討会は、本県における近年の降雨状況や今回の被災状況等を踏まえ、洪水被害の防止・軽減に向けた今後の治水対策の在り方について議論を行うものです。

第三回目となる今回は、本県の「今後の治水対策の在り方(案)」について取りまとめ、委員の皆様にご意見を伺いました。



●7月16日 令和2年度宮城県建設工事表彰式 開催

本表彰式では、「優良建設工事施工業者」及び「建設工事事故防止優良者」を表彰しています。「優良建設工事施工業者表彰」は、宮城県が発注した建設工事の中から優良な工事を選定し、これを施工した県内の施工業者を表彰することにより、建設技術の向上発展に寄与するものです。また、「建設工事事故防止優良者表彰」は、宮城県が発注した建設工事の中から、特に安全管理に努めている現場代理人を表彰し、労働災害の防止及び安全の確保に寄与するものです。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、例年開催していた事故防止対策推進大会については中止し、建設工事表彰式については規模を縮小し開催しました。



●7月30日 第一回 宮城県津波浸水想定の設定に関する検討会 開催

本検討会は、平成23年12月に制定された「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、最大クラスの津波を対象として都道府県知事がシミュレーションを行い、浸水想定区域を設定し、その結果を公表するにあたり、専門家の指導・助言を受け調査結果の妥当性評価を行い、津波災害警戒区域等の指定について検討を行うものです。

今回の検討会では、委員から選出された今村座長の議事進行のもと、宮城県沿岸における津波浸水想定について、採用する津波波源モデル及び計算条件等について事務局から説明し、委員間で議論が行われました。



●8月4日 (都) 矢本門脇線(大曲工区) 開通

令和2年8月4日に(都)矢本門脇線((一)石巻工業港矢本線)の市道堺堀下七丁22号線から市道上納58号線交差点までのL=0.7km区間について開通式を行いました。

当日は、東松島市長はじめ地元関係者の立会いのもと、テープカットおよびくす玉開披が行われ、開通を祝いました。



写真で分かる宮城県の復旧工事 (令和2年3月～令和2年9月)



中貞山運河
(名取市)



仁斗田地先海岸
(石巻市)



清水田地区海岸
(石巻市)



(国) 398号(長清水)
(南三陸町)



(一) 大島浪板線(小々汐)
(気仙沼市)



相川沢川
(石巻市)



開通した内海橋



被災直後



開通式

●9月10日

一般国道398号 内海橋 開通

石巻市中心部の旧北上川左右岸を結ぶ「内海橋」が令和2年9月10日に開通しました。内海橋は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により甚大な被害を受けた、西内海橋及び東内海橋の災害復旧工事により、国の河川堤防整備事業と調整しながら、現在より上流側(約100m)の位置で整備を進めてきたものです。

この度の開通により、道路利用者や沿線住民の安全で円滑な交通確保が図られ、石巻地域の復興はもとより、地元水産業や観光振興など周辺地域の活性化への寄与が期待されます。